

SUWA CENTRAL AREA VISION 2023

# 上諏訪駅周辺 まちなか未来ビジョン









SUWA CENTRAL AREA VISION 2023

# 上諏訪駅周辺 まちなか未来ビジョン

## Contents

---

1. 未来ビジョン策定の目的など
2. 諏訪市・上諏訪駅周辺の課題
3. 上諏訪駅周辺の将来像とまちづくりのテーマ
4. 未来ビジョンの実現に向けた取り組み
5. 未来ビジョンの推進に向けて
6. おわりにかえて

参考．参考資料（別冊）







# 1

## 未来ビジョン策定の目的など

未来ビジョン策定の背景や目的・位置づけ・対象エリアを示します



## 背景

- ・上諏訪駅周辺においては、空き家や空き地が増えるなど、中心市街地の衰退がみられていますが、近年、アーク諏訪のオープン、柳並線の開通、サイクリングロードの供用開始、リノベーションによる空き家・空き店舗活用、諏訪湖イベントひろば（旧東バル跡地）の活用検討、エキまちカイギ※の開催など、まちづくりの気運が高まっています。
- ・こうした背景のもと、上諏訪駅周辺の更なる活性化を進めるために、諏訪市が行うまちづくりに加えて、民間のアイデアや機動力を活かした取り組みなどを強化し、より柔軟で持続可能なまちづくりを公民で協力して行っていく必要があります。

## 目的

- ・ **10年後の将来イメージを共有し、役割分担と連携体制を示すもの**として「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」（以下、「未来ビジョン」）を策定することで、公民が共にまちづくりを進めるための道しるべとします。
- ・未来ビジョンは、行政が単独で定めるのではなく、「官民連携上諏訪駅周辺未来ビジョン策定会議」を設置し、公民共同でまちづくりの方向性を決定します。

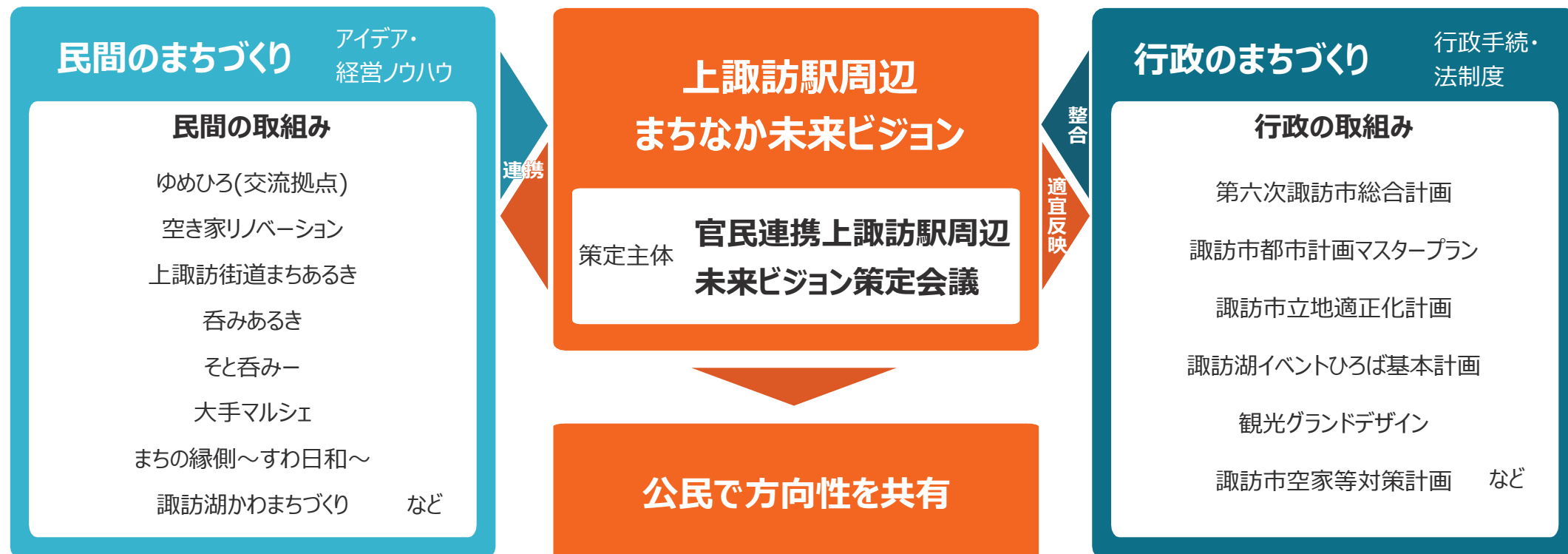
※正式名称：上諏訪駅周辺の未来のまちづくりを楽しむ会議

上諏訪駅周辺の身近にあるものを「資源」として見つめ直し、自らの「欲しい未来」を、地域の人々の力で創り出すための場で、2021（令和3）年11月より開催しています。市民が個人の立場でより自由にまちづくりを提案・実施していく場です。



## 公民で共に議論し、目指す目標と必要な取組みを定めるビジョン

公民がまちづくりにおける価値観や目指す姿を共有し、行政と民間がそれぞれの特徴を活かした取組みを行い、その相互の連携を図ることで、効果的にまちづくりを進めていくための指針とします。



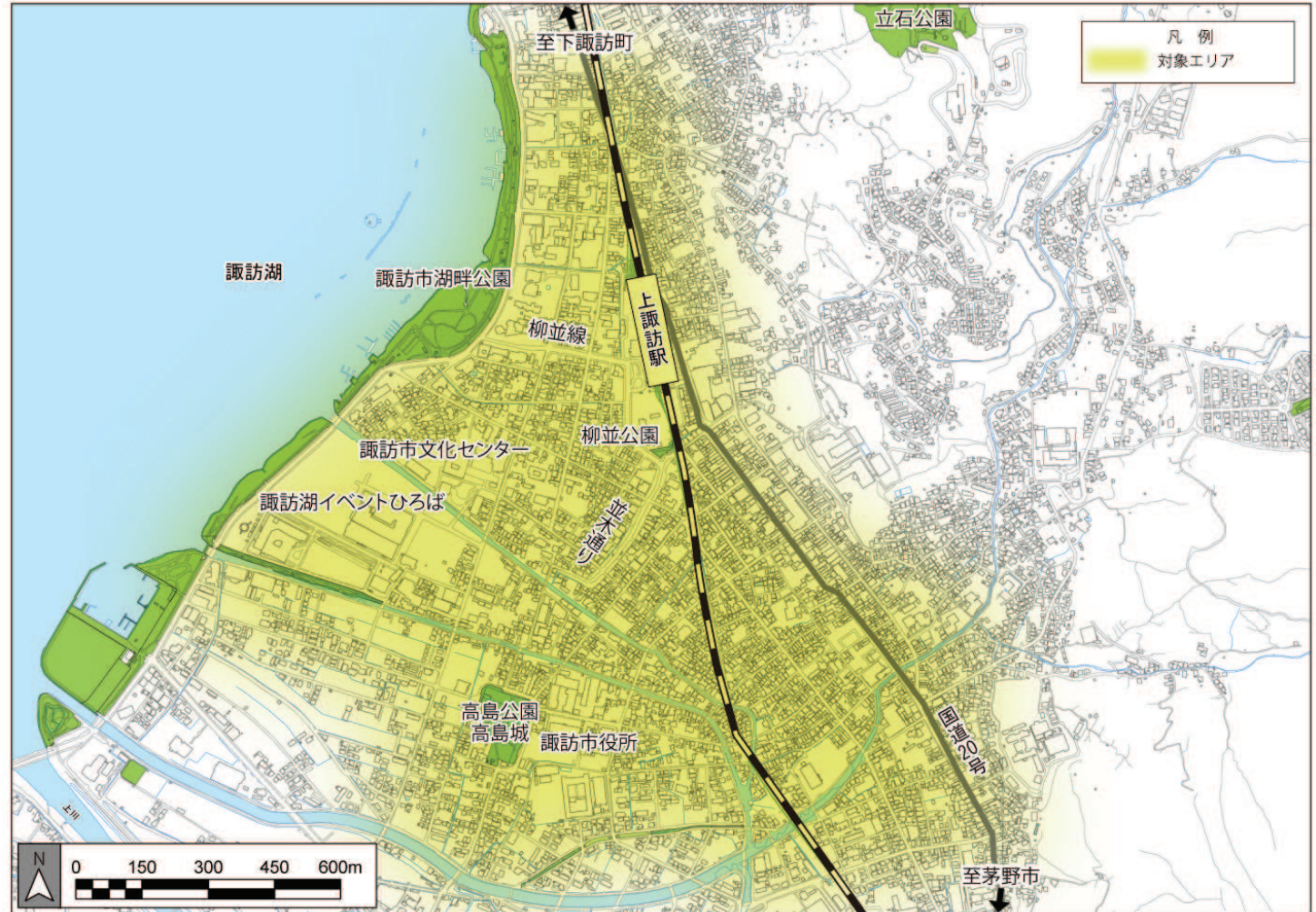
## 上諏訪駅、諏訪湖畔・諏訪湖イベントひろば・市役所・高島城などを含むエリア

- 交通の拠点である上諏訪駅を含むエリア、温泉旅館が多く立地する北側のエリア、湖畔や諏訪湖イベントひろばを含むエリア、市役所や高島城が立地するエリア、歴史的な建造物が残る駅南東側のエリアなどを含む都市機能誘導区域※を中心とした範囲を対象とします。
- ただし、その区域全体で一様に取り組むのではなく、**公民が連携して集中的に取り組む場所をつくることにより、全体への効果的な波及を促していきます。**

### ※都市機能誘導区域：

医療・福祉・商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域であり、居住誘導区域内に設定する区域

出典：諏訪市立地適正化計画





## 構成メンバー

諏訪市における商業、観光、交通、建築、まちづくり、金融、福祉、子育ての各分野の団体を代表する者、政策アドバイザー、学識経験者、ファシリテーター、市、オブザーバー（UDC信州※1、UR都市機構※2）により構成

## 策定プロセス

回数	テーマ	内容
第1回（2022.6.30）	未来ビジョンとは何か	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンバー自己紹介</li> <li>会議の目的と進め方 ・上諏訪駅周辺の現状</li> </ul>
第2回（2022.7.14）	私たちが直視すべき上諏訪駅周辺の都市経営課題とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な諏訪市のために上諏訪駅周辺が果たすべき役割</li> </ul>
<b>現地視察（2022.8.25/9.20）</b>		
第3回（2022.10.13）	私たちが目指す上諏訪駅周辺の未来	<ul style="list-style-type: none"> <li>共有したい価値観</li> <li>目指す暮らしのあり方、まちの姿・達成したい目標</li> </ul>
第4回（2022.11.10）	将来像とまちづくりのテーマ・取組みについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来像、まちづくりのテーマ、取組み（プロジェクト）</li> </ul>
第5回（2022.12.15）	アクションエリア・公民連携まちづくりの体制・ロードマップについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民の役割と連携、体制</li> <li>まちづくりのロードマップ（時間軸と目標の対応）</li> </ul>
第6回（2023.2.9）	未来ビジョン（案）について	<ul style="list-style-type: none"> <li>未来ビジョン（案）の確認</li> <li>未来ビジョンの今後の展開について</li> </ul>

※1：正式名称：信州地域デザインセンター。長野県が主体となり2019年8月に設立した公・民・学連携によるプラットフォームで、長野県内市町村のまちづくり支援のほか、人材育成、情報の収集・発信を行っています。

※2：正式名称：独立行政法人都市再生機構。国土交通省が所管する独立行政法人として設立。主な業務内容は都市再生、賃貸住宅及び災害復興であり、諏訪市においては、市が推進する公民連携まちづくりの一層の促進を図るため、相互連携のもと取り組んでいます。





# 2

## 諏訪市・上諏訪駅周辺の課題

上諏訪駅周辺をとりまく現況から問題点を洗い出し  
未来ビジョンの実現に向けた課題を抽出します

市の都市経営課題、諏訪市と特性の似ている都市との比較などの現況把握を通し、  
諏訪市/上諏訪駅周辺の課題を明らかにし、まちの未来を考える糸口とする

## 目的

客観的に諏訪市/上諏訪駅  
周辺の特<sup>性</sup>、可能<sup>性</sup>を浮か<sup>び</sup>  
上<sup>が</sup>らせ、強<sup>み</sup>や弱<sup>み</sup>、まちの  
未<sup>来</sup>を考<sup>え</sup>る糸<sup>口</sup>と<sup>す</sup>る。

## 手法

### 都市経営課題の把握

- ・財政・産業からみえる課題
- ・人口などからみえる課題
- ・市街地の構造などからみえる課題
- ・防災・安全・安心からみえる課題

### まち歩きなどによる把握

- ・まちの資源からみえる課題
- ・活用したい資源

### 類似都市比較

- ・長野県諏訪市
- ・静岡県熱海市
- ・群馬県渋川市
- ・栃木県日光市

## 課題把握

### 諏訪市/ 上諏訪駅周辺の 課題把握

※課題把握の詳細は、参考資料を参照



## 現況から読み解く5つの課題

### 1 財政・産業からみえる課題

・既存資源を活かした産業育成、  
交流人口・関係人口の増加

### 2 人口などからみえる課題

・転入が多い就職期（20代）の  
定住化促進

### 3 市街地の構造などからみえる課題

・空き家・空き地など既存ストックの  
活用

### 4 防災・安全・安心からみえる課題

・安全・安心で回遊しやすい  
歩行環境づくりと災害への備え

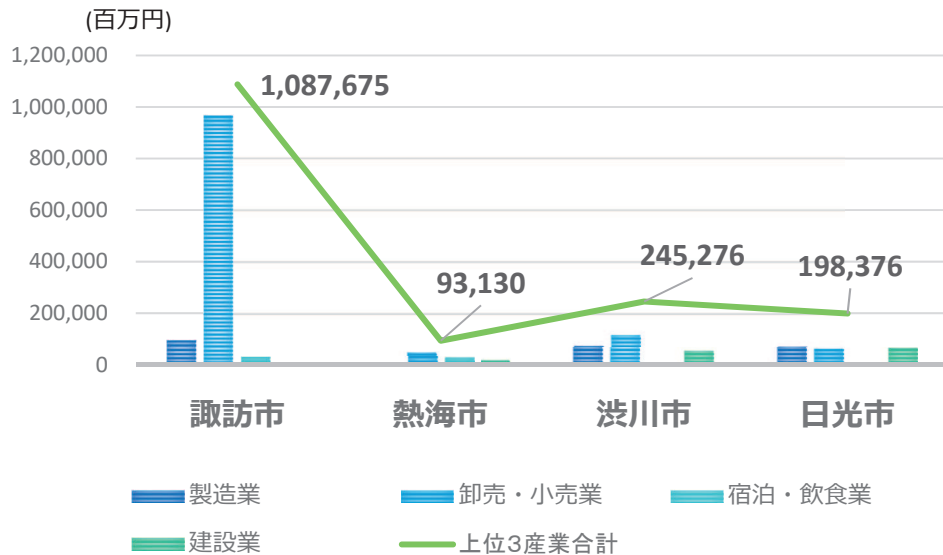
### 5 まちの資源からみえる課題

・上諏訪駅周辺の成り立ち  
(自然、歴史・文化、土地の特性)を活かした  
資源の活用

## 既存資源を活かした産業育成、交流人口・関係人口の増加

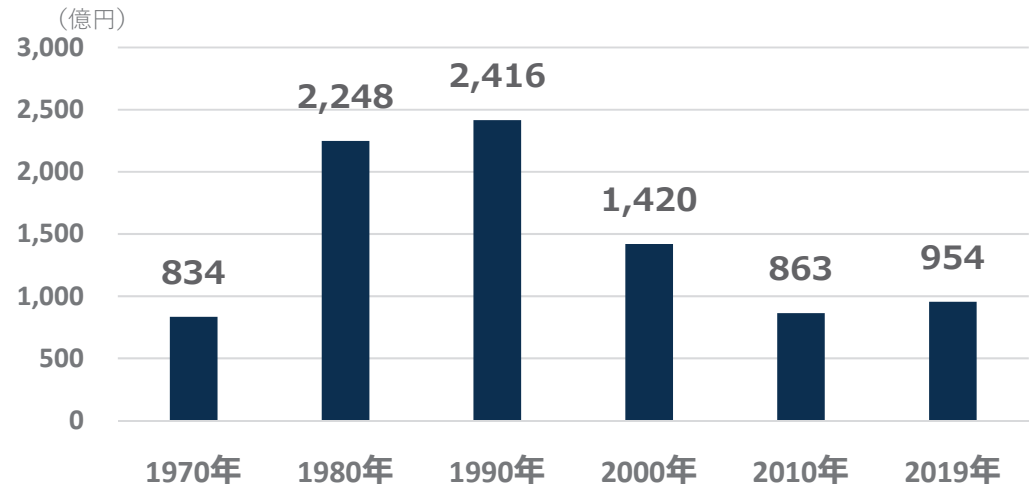
- ・市の財政状況の厳しさが続く中、産業の中核である製造業の出荷額も減少
- ・上諏訪駅周辺の活力を再生するために、既存資源を活かし、交流人口・関係人口増加を目指して、関係する産業を育てることが必要

■上位3産業の売上比較（企業単位売上高：2016）



出典：RESASをもとに作成

■製造品出荷額などの推移



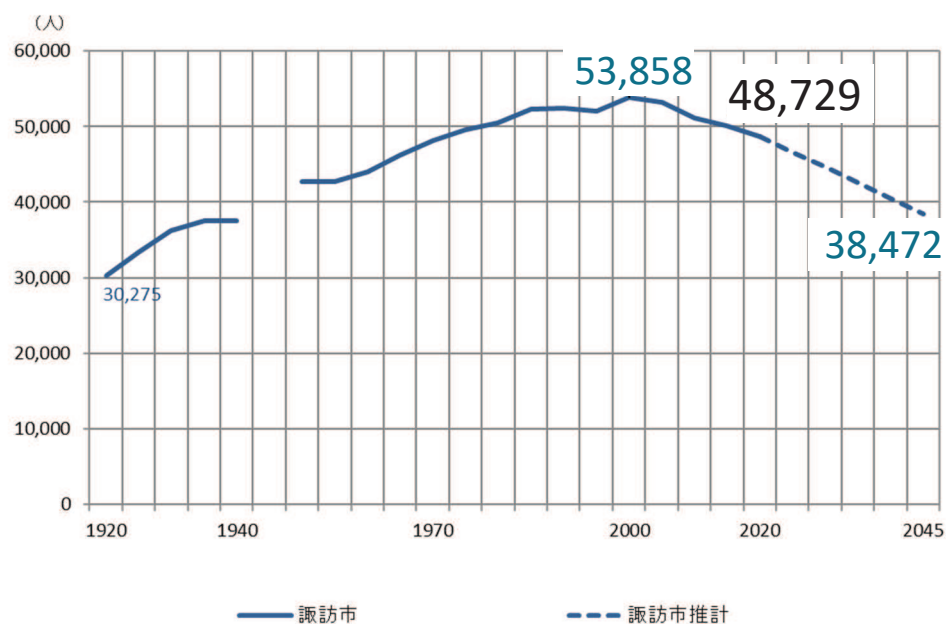
出典：諏訪地方統計要覧



## 転入が多い就職期（20代）の定住化促進

- ・人口減少や高齢化が顕著
- ・社会増減が人口増減に占める影響が大きい中、就職時期の20代が流入増の一方で、進学期と出産・子育て期の30代の流出増が顕著。20代に流入した人口を維持するために、特に出産・子育て期の流出抑制が必要

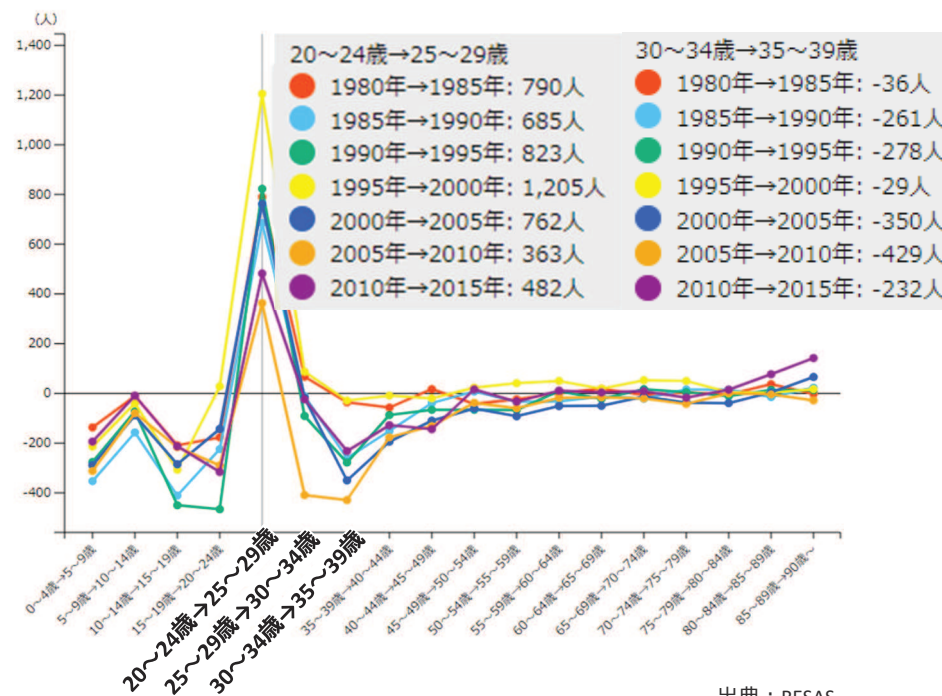
### ■諏訪市の人口推移



出典：国勢調査 2020,将来人口推計値\_国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」2018

※1945年の国勢調査は未実施

### ■年齢階級別純移動数の時系列分析

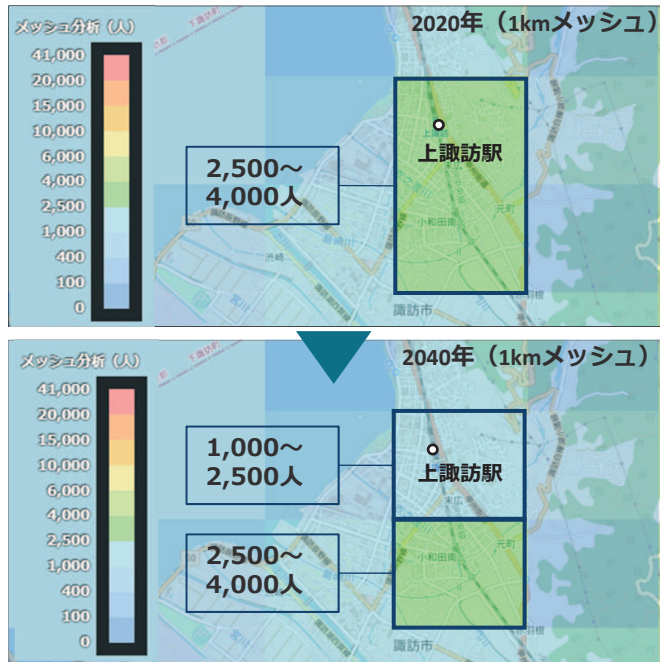


出典：RESAS

## 空き家・空き地など既存ストックの活用

- ・高齢化、人口密度の低下が進む中で、必然的に発生する空き家・空き地などの既存ストックの有効な資源としての活用が必要

### ■人口メッシュの変化（2020年・2040年）



出典：RESAS

### ■空き家・低未利用地分布



出典：空き地：都市計画基礎調査、空き家：市提供データを基に作成



## 安全・安心で回遊しやすい歩行環境づくりと災害への備え

- ・歩行者空間・サインなど、安全・安心で回遊しやすい歩行環境づくりが必要
- ・駅周辺では浸水、斜面地では土砂災害の危険性があるため、ハザードの特性を踏まえた防災・減災の取り組みが必要

### ■安全・安心



狭く不陸の大きい歩道



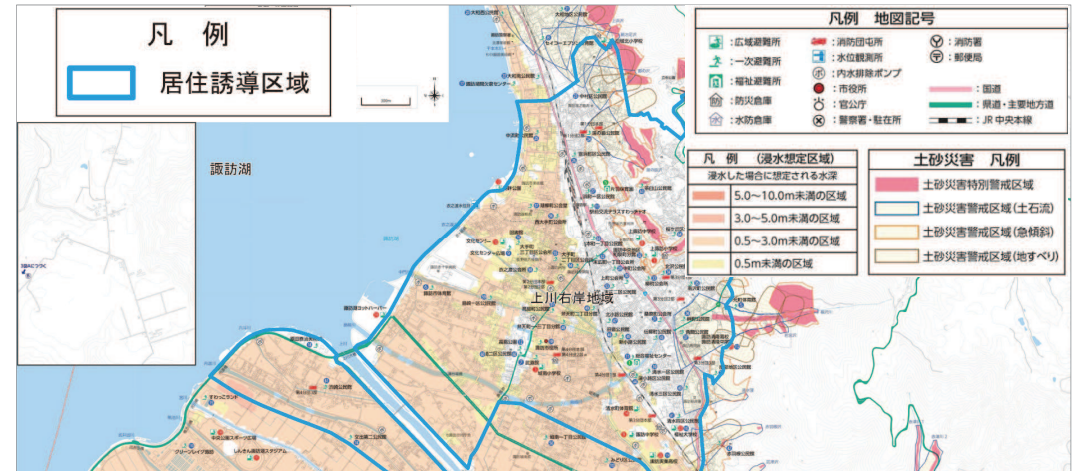
歩行者動線の障害となる街灯



分かりにくく、不揃いな案内サイン



### ■浸水（100年に1度の規模）



出典：諏訪市マルチハザードマップ2022、諏訪市立地適正化計画をもとに作成

### ※居住誘導区域：

人口減少の中にあっても一定エリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域

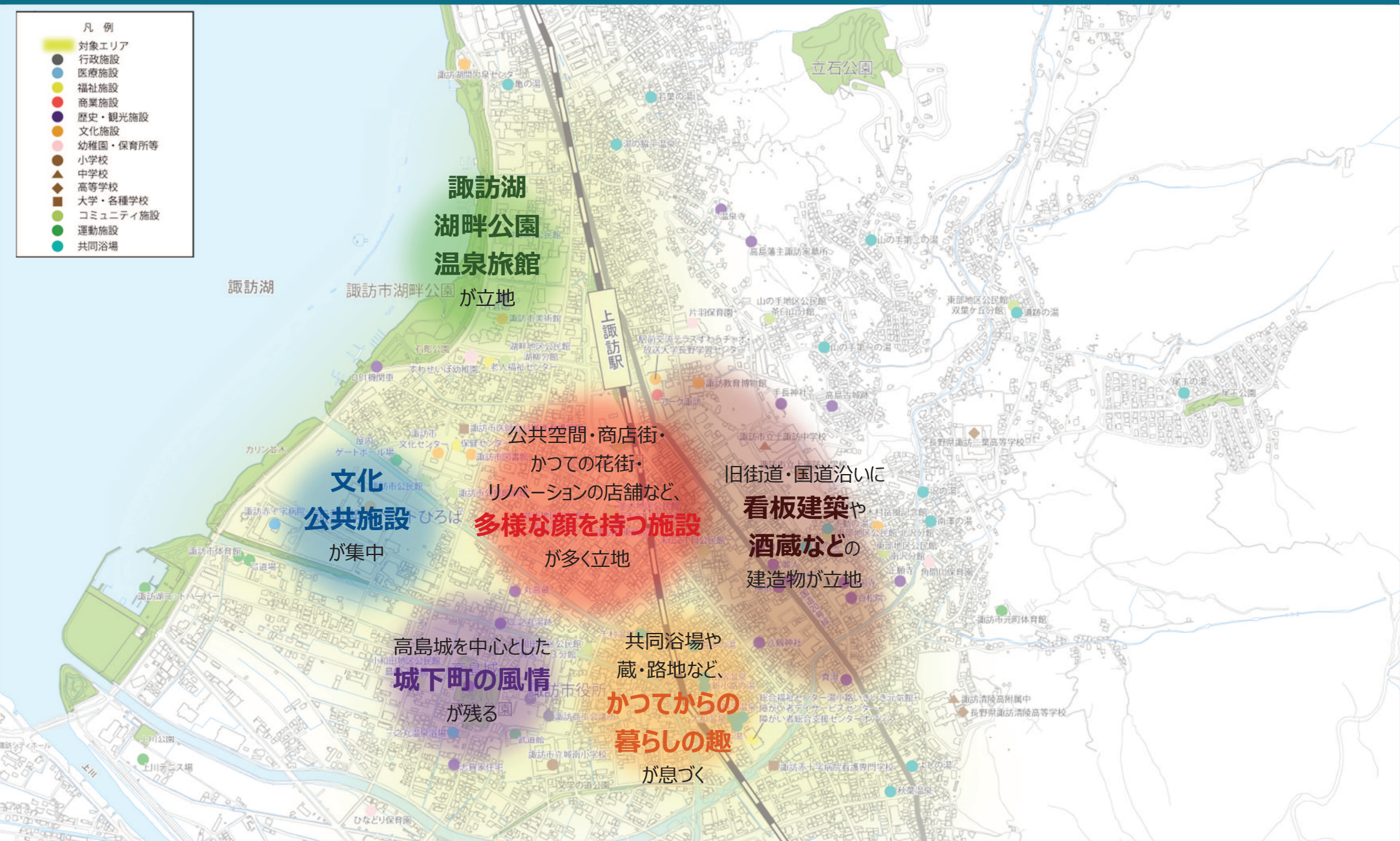
出典：諏訪市立地適正化計画

## 上諏訪駅周辺の成り立ち（自然、歴史・文化、土地の特性）を活かした資源の活用

- ・諏訪湖や温泉などの自然特性、城下町や蔵・古民家などの歴史・文化特性、諏訪湖イベントひろばなどの産業の記憶が刻まれた土地の特性を活かした資源の活用が必要
- ・エリア特性を活かしながら、資源（魅力）のブラッシュアップと効果的な活用が必要



- 凡例
- 対象エリア
  - 行政施設
  - 医療施設
  - 福祉施設
  - 商業施設
  - 歴史・観光施設
  - 文化施設
  - 幼稚園・保育所等
  - 小学校
  - 中学校
  - 高等学校
  - 大学・各種学校
  - コミュニティ施設
  - 運動施設
  - 共同浴場



諏訪湖  
湖畔公園  
温泉旅館

諏訪市湖畔公園が立地

文化  
公共施設  
が集中

公共空間・商店街・  
かつての花街・  
リノベーションの店舗など、  
多様な顔を持つ施設  
が多く立地

旧街道・国道沿いに  
看板建築や  
酒蔵などの  
建造物が立地

高島城を中心とした  
城下町の風情  
が残る

共同浴場や  
蔵・路地など、  
かつてからの  
暮らしの趣  
が息づく







方湖

諏訪市湖畔公園

公共空間・商店街・  
かつての花街・  
リノベーションの店舗など、  
**多様な顔を持つ施設**  
が多く立地



湖明館通り



アーク諏訪(複合施設)



並木通り



柳並公園



飲み屋街



花街・料亭の名残



リノベカフェ・雑貨店

カリン並木

諏訪赤十字病院

弓道場

小和田  
島崎2分館

高島城

高島公園

三之丸温泉浴場

武道館

諏訪市役所

諏訪商工会議所

諏訪市医師会付属准看護学院

丸高蔵  
丸湯跡  
千村温泉  
田地区公民館  
天1・3分館

柳並公園

並木地区公民館  
大手2丁目公所  
諏訪城東病院

柳並公園

上諏訪駅

駅前交流テラスすわろチャオ  
放送大学長野学習センター

未広2丁目公民館

舞姫

横笛

八剣神社

真澄

総合福祉センター湯小路いきいき元気館

障がい者デイサービスセンター

障がい者総合支援センターオアシス

諏訪市立上諏訪小

諏訪教育博物館

山の手地区公民館  
若菜公民館

東部地区公民館  
双葉ヶ丘分館

諏訪三葉高等学校

不動の湯

東部地区公民館北沢公民館

南澤の湯

諏訪市元町体育館

諏訪市元町体育館

諏訪清陵高附属中

長野県諏訪清陵高等





旧街道・国道沿いに  
**看板建築**や  
**酒蔵**などの  
建造物が立地













# 3

## 上諏訪駅周辺の将来像と まちづくりのテーマ

10年後をターゲットとして目指すべき将来像やまちづくりのテーマを示します



課題	大切にしたい価値	目指す将来像
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既存資源を活かした産業育成、交流人口・関係人口の増加</li> <li>2. 転入が多い就職期（20代）の定住化促進</li> <li>3. 空き家・空き地など既存ストックの活用</li> <li>4. 安全・安心で回遊しやすい歩行環境づくりと災害への備え</li> <li>5. 上諏訪駅周辺の成り立ち（自然、歴史・文化、土地の特性）を活かした資源の活用</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 暮らしの中に受け継いできた伝統や文化</li> <li>2. 歴史を感じる都市空間</li> <li>3. 諏訪湖とともにあるゆったりとした日常</li> <li>4. 人の存在、人とのつながり</li> </ol>	<p>上諏訪駅周辺の魅力・資源を余すことなく感じることができるまち</p>

まちづくりのテーマ	実現に向けた取組み	アクションエリア
<b>Theme 1</b> 上諏訪に今ある資源を最大限に活かした新たな価値と暮らしをつくる	<b>Project 1</b> 遊休不動産の活用による魅力・資源の再生 (美) (楽) (懐) (旨)	<b>1.ZONE</b> デザイン&マネジメント 末広・小和田周辺
<b>Theme 2</b> 歩いて楽しめることを最優先に考えた環境をつくる	<b>Project 2</b> 自動車だけに依存しない、移動を楽しむ環境整備 (美) (楽) (懐) (優) (旨)	<b>2.PLACE</b> デザイン&マネジメント
<b>Theme 3</b> 人の動きや活動を“ランドレベル”で可視化する	<b>Project 3</b> 公共空間のオープン化と積極的活用の推進 (美) (楽) (懐) (優)	・湖畔公園 ・柳並線 ・上諏訪駅西口広場 ・柳並公園
	<b>Project 4</b> まちの魅力を発信・継承するプロモーションの実施 (美) (楽) (懐) (優)	・並木通り ・文化センター周辺 ・高島公園周辺 など



1

暮らしの中に溶け込みながら  
受け継いできた伝統や文化

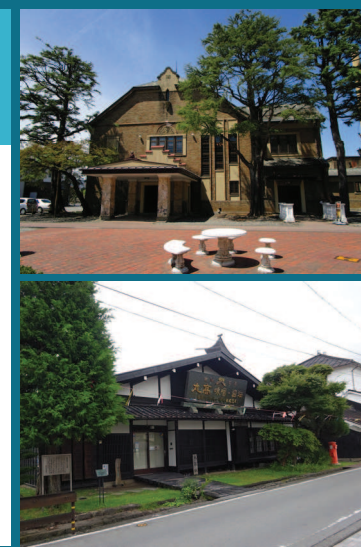
- ・7年に一度の御柱祭
- ・年中行事としてのお祭り、花火
- ・温泉とともにある暮らしの幸せ



2

歴史を感じる都市空間

- ・地域独自の歴史をまちの中から  
感じる心地良さ
- ・これまでに築き上げてきたまちなみや  
建物・風景など



3

諏訪湖とともにある  
ゆったりとした日常

- ・諏訪湖とともに人の日常がある  
ゆったりとした光景
- ・湖上でのレジャー



4

人の存在、人とのつながり

- ・歴史や伝統を背景にした  
地域のコミュニティ
- ・互いを支えあうことで住みよさをつくる  
人のつながり
- ・誰もが参加できる地域づくり
- ・人の中に息づく技術や産業資源
- ・商店街の人々の助け合い



美しい 楽しい 懐かしい 優しい <sup>おい</sup>旨しい

## 上諏訪駅周辺の魅力・資源を余すことなく感じることができるまち

暮らしと共に歩みを重ねてきた史跡や建築物、花火や御柱祭などの文化、市の発展を支えてきた製造業、生活を潤し、見守ってきた諏訪湖、まちなかを流れる数々の河川や水路。そして、お互いに支え合うことができる諏訪人。

遊び、憩い、子育て、学び、仕事など、どこで何をしていても、これら上諏訪駅周辺の魅力・資源を感じながら豊かな時間を過ごせる、**上諏訪で暮らすことを誇りに思える、そんな暮らしの実現**を目指します。

また、**豊かに暮らす諏訪人の姿やおもてなしが、訪れる人にも魅力となり**、諏訪人と交流することで、上諏訪駅周辺をどんどん好きになる、**また訪れたいくなる、住みたいくなる、そんなまちとなること**を目指します。

### 1 上諏訪の魅力・資源を体感できる暮らしがあるまち

大切に育まれてきた歴史、花火や祭りなどの伝統文化、温泉や路地などの生活文化、諏訪湖や河川などの自然を身近に感じることで暮らす

### 2 魅力・資源の活用が実感できる空間があるまち

安全に界隈を散策でき、ひとりひとりの時間が快適に過ごせる、自分時間が過ごせる空間づくりを目指します

### 3 上諏訪の魅力・資源を引き継ぐ仕組みがあるまち

魅力や資源を活用・継承できる仕組み、やりたいことをサポートする仕組みをつくり、持続可能なまちを目指します



## 目標として設定し、その実現に挑戦する3つのテーマ

### Theme 1 上諏訪に今ある資源を最大限に活かした新たな価値と暮らしをつくる

#### このまちならではの資源を活かした 新たな価値と暮らしの創造

- ・温泉や諏訪湖など、上諏訪ならではの資源を活かした新たな価値と暮らしを創造します

#### 市民が欲しい未来を手にするための 挑戦の場づくり

- ・市民が自らの力で欲しい未来を手にするため、挑戦できる場をつくと共に、未来をつくっていく担い手の育成に努めます

### Theme 2 歩いて楽しめることを最優先に考えた環境をつくる

#### 界隈の散策を楽しめる 歩行者優先のゾーンの形成

- ・車の危険を気にせず安心して界隈の魅力を楽しめる歩行者優先のゾーンをつくります

#### 特色あるエリアをつなぐ 人に優しい交通ネットワークの形成

- ・市街地に分散する特色あるエリアや施設をつなぎ、安全・快適にまちを巡れる人に優しい交通ネットワークをつくります

### Theme 3 人の動きや活動を“グランドレベル”で可視化する

#### “グランドレベル”で行われる アクティビティの多様化

- ・人の動きや活動がグランドレベル（屋外や建物の1階）で行われ、まちの風景として見えるようにします

#### より使われる空間とするための道路や公園、広場など 公共空間のオープン化

- ・誰にでも、手軽に利用できるよう公共空間を市民に開いていきます

## このまちならではの資源を活かした 新たな価値と暮らしの創造

- ・諏訪湖や温泉、河川や水路などの**自然資源**、そしてそれらを活かし、共に生きることで積み重ねてきた**歴史や文化**は、**上諏訪駅周辺ならではの特別な資源**です。
- ・これらの資源を大切に守り、受け継ぎ、育てて、生活の中に活かすことで、遊び・憩い・子育て・学び・仕事など、様々な面で**ここに暮らす豊かさを感じられるまちを実現**します。
- ・同時に、その資源を活かして時代のニーズに対応した新たなコンテンツやサービスを創造するビジネスへの取組みを進めることで、**交流人口・関係人口の積極的な拡大を図り、持続できる地域を支える経済を実現**します。

## 市民が欲しい未来を手にするための 挑戦の場づくり

- ・市民がそれぞれの欲しい未来を実現するには、自らの意思で、**自分にあった形でまちとの関わりを持つことを楽しむことが大切です**。
- ・欲しいと思うまちの未来に向けて自ら動く人のために、**挑戦しやすい環境づくりを行います**。
- ・また、創造性をもって自立してまちづくりをけん引する**担い手を積極的に発掘、育成し、活躍の舞台を整えます**。
- ・さらに、**未来を担う若者や子どもがこのまちに愛着や魅力を感じ、自らの未来をつくっていくことができるよう、体験や学びの機会を設けます**。



## 界隈の散策を楽しめる 歩行者優先のゾーンの形成

- まちなかで安心して立ち止まり、たたずみ、座ったり、おしゃべりを楽しめることは、まちを魅力的と感じる上できわめて大切な条件です。
- 上諏訪駅周辺の魅力を住む人が実感し、訪れる人にも伝わるように、安心してまちの環境を楽しみ、憩い、語らえる滞留・滞在の空間として、歩行者優先のゾーンを形成します。
- 歩行者優先のゾーンに、世代を超えた交流の場や、子どもが安心して時間を過ごせる場、日常の小さな楽しみを持てる場やちょっとした仕事ができる場などを育むことにより、人のつながりが暮らしの豊かさを生み出し、地域に根差した小さな仕事や事業が成長する界隈をつくります。

## 特色あるエリアをつなぐ 人に優しい交通ネットワークの形成

- 地域の魅力が複数の箇所に分散し広く点在していることで、エリアにより異なる特色を持つことが上諏訪駅周辺の特徴です。
- この特徴を活かすため、複数のエリアを徒歩や自転車など、緩やかなスピードで楽しく、安全に周ることができるネットワークを形成します。
- 上諏訪駅周辺の特徴的な景観資源や魅力を楽しみながらゆったりと移動できるよう、歩きやすさや安全性を確保する道路の改善、歩行者空間の整備、サイクルシェアシステムなどの導入、駐輪場や駐車場の整備、道路景観の統一、案内・誘導サインの整備などを一体的に行っていきます。

## “グランドレベル”で行われる アクティビティの多様化

- **グランドレベル**（公園や広場などの屋外空間と建物の1階部分）の**風景は、無意識のうちにまち行く人の目にとまり、居心地の良さやまちの魅力**を印象づけることから、特に重要な空間です。
- まちの中で行われる多種多様な**アクティビティがグランドレベルで見えると、活気が生まれ、個性と魅力をもったまちの表情となり、訪れる人を惹きつけ、コミュニケーションを誘発するきっかけともなります**。また、まちに人の目が行き届くことで防犯上の効果も期待できます。
- 敷地や建物の中で行われるアクティビティの一部をグランドレベルで行ったり、外から見えやすい環境をつくることで、**アクティビティの多様化を図ります**。これを特色が異なる複数のエリアで進めることにより、様々な表情をもったまちの空間をつくります。

## より使われる空間とするための道路や公園、広場など 公共空間のオープン化

- 道路や公園、広場などの公共空間は、グランドレベルとして重要な場所です。**市民がこれを上手に使いこなすことは、欲しい未来を手にするための大事なポイント**といえます。
- しかし、公共空間には、法令などにもとづく利用上の規制やルールがあり、市民にとっては複雑でわかりにくく、手続きも煩雑と捉えられているため、必ずしも効果的に活用されていません。
- このため、利用に関するルールや利用状況などの情報をわかりやすく提供し、利用するための手続きや仕組みをシンプルで便利なものにする事で、**誰にでも気軽に使いやすい空間とする、公共空間の「オープン化」を進めます**。



## 諏訪市内の中高生39名と共にグループ談議を実施！

わたしたちが考える  
上諏訪駅周辺って・・・？



### テーマ 上諏訪駅周辺の好きなおとこ

中学生 R4年12月5日

七夕祭り 花火  
道路整備 御柱祭 アイスキャンダル、イルミネーション  
駅周辺の利便性 温泉施設 観光場所  
すわっチャオ 諏訪湖、湖畔  
かりんちゃんバス  
自然がきれい（手長神社・立石公園）  
落ち着いた雰囲気 地域コミュニティ  
文化、歴史的な店舗や建物

※文字が大きいほどその意見が多いことを示します

- 行事などの伝統文化
- 諏訪湖
- 人とのつながり
- 地域性や歴史を感じる空間
- その他

諏訪湖や観光場所・イベントはもちろん、すわっチャオなどの便利なおとこも好き！



### テーマ 上諏訪駅周辺で未来に向けてやってみたいこと

高校生 R4年12月5日

御柱祭を盛り上げる  
イベントひろばでのイベント開催  
商店街に魅力的な店舗を増やす  
空き地・空き家・空き店舗活用  
分かりやすい看板やサイン 街灯を増やす  
駅を使いやすくする 駐車場を分かりやすくする  
道幅を広げる

※文字が大きいほどその意見が多いことを示します

- 遊休不動産活用
- 公共空間の整備・活用
- 移動を楽しむ環境整備
- 情報発信・まちの魅力の継承

空いているところ、勿体ないところを活かしてもっと諏訪を元気にしたい！







# 4

## 未来ビジョンの実現に向けた取組み

上諏訪駅周辺の課題解決や将来像の実現などに向けて、10年後までに優先的に  
行うプロジェクトと、プロジェクトを重点的に行うアクションエリアを示します



## 将来像の実現に向けて重点的に実施する4つのプロジェクト

### Project 1 遊休不動産の活用による魅力・資源の再生

- ・活用可能な遊休不動産の発掘と流動化の仕組みづくり
- ・遊休不動産活用の一体的マネジメントの実施
- ・産業振興を主軸とした官民連携による不動産活用



### Project 2 自動車だけに依存しない、移動を楽しむ環境整備

- ・ウォークブルゾーンの設定
- ・歩行者中心とする街路の特定とストリートデザイン
- ・フリッジパーキングの整備と運営
- ・サイクルシェアシステムなどの導入
- ・各エリアを連絡する歩行者ネットワークの整備



### Project 3 公共空間のオープン化と積極的活用の推進

- ・公共空間の利活用をオープン化する空間整備と仕組みづくり
- ・市民発意による「まちなかトライアル」の実施支援
- ・グランドレベルで重要な場所を特定した「場づくり」のマネジメント
- ・まちのエントランス空間整備



### Project 4 まちの魅力を発信・継承するプロモーションの実施

- ・諏訪の魅力を継承する仕組みづくり
- ・ブランディングの視点からのエリアの情報発信
- ・訪れる人の立場から考えたまちのサインの見直し





## 活用可能な遊休不動産の発掘と流動化の仕組みづくり

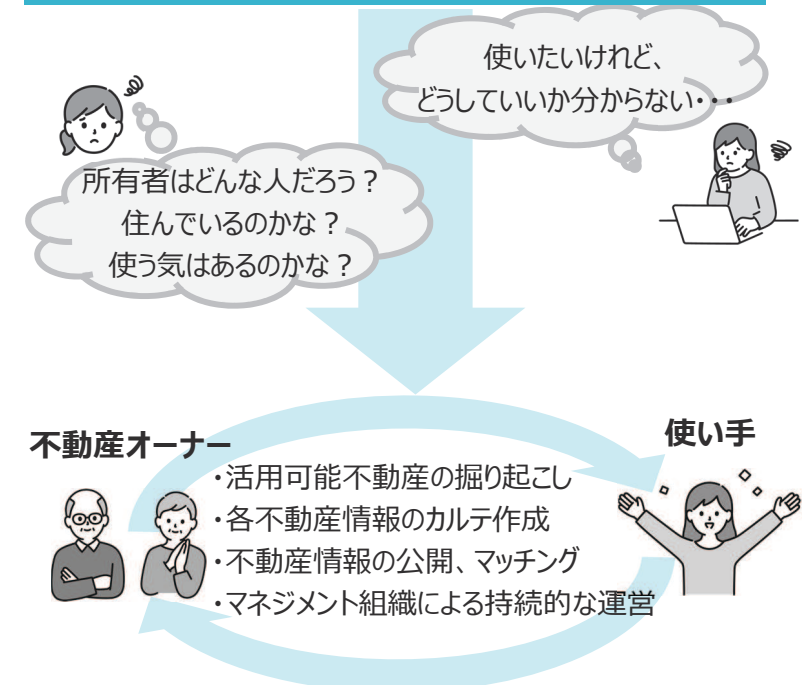
- ・上諏訪駅周辺を歩くと、酒蔵や味噌蔵、花街や問屋街、湯治のための温泉街、共同浴場など、かつて高島藩の城下町として栄えた歴史・文化の足跡を色濃く感じることができます。
- ・その一方で、こだわりある建築物や蔵、看板建築などが、十分に活かされていないまま老朽化し、空き家・空き店舗となって放置されたままの状態となっている様子が見受けられます。また、地域の温泉として親しまれてきた共同浴場の継承も課題です。
- ・こうした歴史的な魅力が感じられる建築物や温泉文化について、建物の外観や通りの景観を活かしながら新たなニーズに対応し、魅力を付加したものとして再生するため、活用可能な遊休不動産や資源を掘り起こし、所有者と使い手との間をマッチングするための体制や仕組みをつくります。
- ・これにより、駅周辺の利便性の高い場所での魅力ある居住環境をつくり、新規カフェやレストランなどの誘致を進めます。

## 遊休不動産活用の一体的マネジメントの実施

- ・複数の遊休不動産再生を統一された経営の観点で進めるリノベーション事業を行うことにより、持続可能な収益性を確保しつつ、暮らしやすい環境形成、関係人口の拡大などまちの価値向上に必要な機能を導入し、界限として空間の魅力を高めます。



空き家や空き店舗の中には特徴的・魅力的な建築物も多い



## 産業振興を主軸とした官民連携による不動産活用

- ・諏訪市の産業をリードしてきたものづくり（産業振興）の象徴的な場所である諏訪湖イベントひろばは、自動車でのアクセス性、諏訪湖への眺望に優れ、まちなかに残る唯一の広大な敷地（約7ha）です。
- ・「諏訪湖イベントひろば基本計画」(2021(令和3)年9月)では、これらの特性を活かし、官民連携により、ものづくり（産業振興）分野を主軸として、コミュニティ（防災）、観光、医療・健康の4つの分野の導入を目指すこととしており、その推進を図ります。



諏訪湖に面する約7haの広大な敷地

### 諏訪湖イベントひろば基本計画



諏訪地域の魅力の架け橋実現へ

諏訪湖  
イベントひろば  
基本計画では

**産業振興・  
技術開発・  
観光振興・  
雇用拡大の  
活動拠点ゾーン**

をコンセプトとして  
掲げています



## ウォーカブルゾーンの設定

- ・上諏訪駅周辺には、歴史的な建物を活用した店舗や、人が多く集まることで賑わいを演出できるヒューマンスケール※な商店街など、人が歩いて楽しむことが可能になるポテンシャルをもった空間が多くあります。
- ・安全・安心に歩き、滞留して、日々の暮らしを豊かにする商業や文化、交流機能を楽しめる界限を形成する場所として「ウォーカブルゾーン」を設定し、通りごとの特性にあわせ、既存施設や沿道商店街と連携しながら自動車通行規制の導入や歩行・滞留空間の整備、駐車場の再配置・集約化を進めます。

## 歩行者中心とする街路の特定とストリートデザイン

- ・ウォーカブルゾーンの中で、歩行者中心の空間を重点的に形成する街路を特定し、より制限された自動車通行規制、上諏訪駅周辺の歴史や成り立ちを活かした沿道建物と街路の修景や緑化、道路空間や沿道空間を活用した休憩・飲食・遊び場の提供などに一体的に取り組めます。
- ・取組みの推進にあたっては、既存施設や商店街との連携も図り、回遊性の向上や地域経済の活性化につなげていきます。

### ※ヒューマンスケール：

ここでは「道路幅や建物の高さ、視界に入るもののサイズが歩く人の視線の高さやスピード感にあわせて、落ち着いた規模」を指します



歩行者が安全にまち歩きを楽しめる通り



一時的な車両通行止めを実施し商店街と連携したマルシェ



沿道空間を活用したオープンな飲食店

## フリンジパーキングの整備と運営

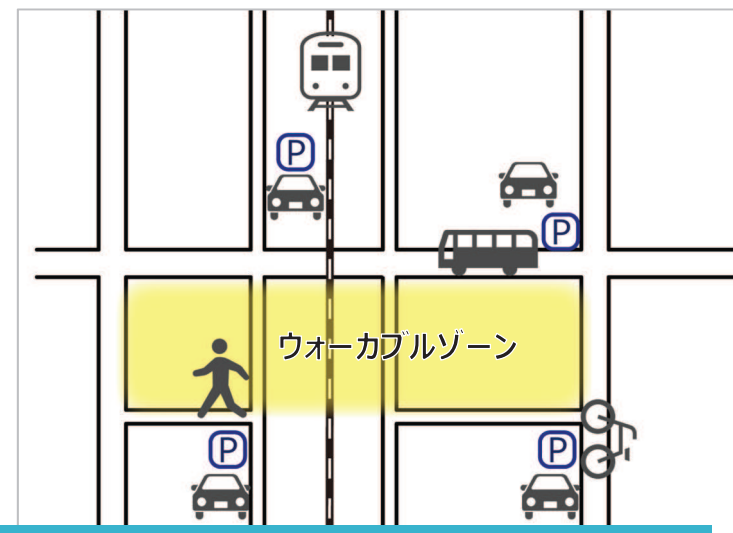
- ・市街地の各エリアに「フリンジパーキング」（自動車を止め、そこから公共交通や徒歩・自転車などで移動するための駐車場）を整備し、バスや自動車などでアクセスしても徒歩や自転車などで回遊しやすい環境を確保します。
- ・フリンジパーキングは、ウォークアブルゾーンをはじめとしたアクションエリア（後述）に配置し、歩きやすいゾーンの整備と一体となって、回遊環境の向上を図ります。

## サイクルシェアシステムなどの導入

- ・自動車以外でもまちなかに点在する魅力的なスポットを手軽に巡ることができる環境を整備するため、自転車をシェアしながら利用するサイクルシェアなどの仕組みを導入します。
- ・このため、自動車や電車、観光バスなど様々な交通手段で訪れる人にも使いやすく、まちなかの日常利用にも対応できるようフリンジパーキングを含め、市街地の各地に利用のためのポートを設置します。

## 各エリアを連絡する歩行者ネットワークの整備

- ・上諏訪駅周辺の河川や湖などの自然や歴史・文化、商業・交流施設などを楽しく、分かりやすく巡るために、市街地の各エリア間を移動することを想定した歩行者ネットワークの路線を特定し、歩道幅員の確保やユニバーサルデザインへの対応、沿道の敷地と連携したベンチの設置など、歩行環境の整備を行います。
- ・また、トイレや水飲み場、喫煙所などは、公共施設や民間施設との利用連携も考慮しながら、まち全体で歩きやすい環境づくりを進めます。



ウォークアブルゾーンの周辺に、移動手段転換の拠点となるまちなかの駐車場



サイクルシェアシステムと一体になって構築されている歩行者（自転車）ネットワーク



## 公共空間の利活用をオープン化する空間整備と仕組みづくり

- ・近年では、道路や公園、広場などの公共空間を、生活する人の暮らしの豊かさや人とのつながりの拡大、地域の課題解決につながるように利用することで、まちの価値の向上を図ることが重要と考えられています。
- ・上諏訪駅周辺は、ケヤキ並木がシンボルとなっている並木通りや柳並公園、駅西口から湖畔へとつながる柳並線や湖畔公園、高島公園、文化センター前の広場など、それぞれに特徴のある公共空間が充実しています。
- ・こうした公共空間を、身近で使いやすい空間として地域の使い手に開いていくため、利用の仕方に関するガイドラインの整備や利用に係る情報の一元化と分かりやすい情報発信、手続きの簡素化や利便性向上を進めます。あわせて、鳥のふん害や美化などの環境改善、電源や水道、Wifi環境などの必要な設備を検討します。

## グランドレベルで重要な場所を特定した「場づくり」のマネジメント

- ・上諏訪駅周辺に魅力ある風景をつくっていくためには、エリアによって異なる魅力・資源を感じながら豊かな時間を過ごすことができる重要な場所とシーンをイメージし、丁寧につくっていくことが重要です。
- ・それぞれの立地の特色を活かしながら、公民が連携して居心地よい空間や場を育てていくべき重点的な場所を特定し、そのオープン化を進めるため、それぞれの場所に応じたルールやマネジメントのあり方を検討します。



地域の絵画教室が公園でライブペインティング



街路樹の木陰を活かしたオープンカフェ



グランドレベルがオープンになり、ガラス張りの建物と外のカフェスペースで外と中がつながる

## 市民発意による「まちなかトライアル」の実施支援

- ・諏訪市では、市民が自らの欲しい未来を地域の人々の力で作り出す場として、「**エキまちカイギ**（上諏訪駅周辺の未来のまちづくりを楽しむ会議）」を開催し、参加市民によるさまざまなプロジェクトの提案や実現に向けた取組みが進められています。こうした取組みの継続により、市民同士で日常的に情報交換や交流を行いながら、欲しい暮らしを手にするために市民が自ら発意し手掛ける企画を試す土壌や市民マインドを育てます。
- ・また、市民の企画の継続的な実施に必要なサポートを公民が一緒に確認できる機会をつくるなど、企画の実現をサポートする仕組みや体制をつくっていきます。
- ・さらに市民自らがやりたい企画をグランドレベルでも積極的に試せる機会として、公共空間などを活用した社会実験を行います。



やりたいことを試してみる社会実験



エキまちカイギの様子



エキまちカイギの開催報告



## まちのエントランス空間整備

- ・上諏訪駅は、住んでいる人にとっても訪れる人にとっても、人々を出迎え、送りだすおもてなしのエントランスであり、交通の拠点です。
- ・特に駅西口は、柳並線を介してまちのシンボルである湖畔公園へとつなぐ場、温泉街や、並木通りを経て高島城方面へとつなぐ場であり、今後は中央自動車道とのアクセス性の向上が見込まれる結節点でもあります。
- ・しかしながら、現在は、上諏訪駅から直接西口への連絡ができない状況です。
- ・東西の連絡しやすさの向上につながる駅のあり方について検討すると共に、駅前広場の安全・快適性、景観はもちろんのこと、市民の積極的な活用を想定した“オープンな公共空間”としての使いやすさにも留意した再整備を進めていきます。



イベント空間として活用される駅前空間



マルシェやステージなど様々な利活用ができる駅前空間

## 諏訪の魅力を継承する仕組みづくり

- ・諏訪では、7年に一度、寅と申の年に、諏訪大社氏子の祭りである「御柱祭」が行われ、その年は1年を通して地域をあげて皆で準備に取り組み、大いに盛り上がります。
- ・御柱祭を例にとっても、1つの目標に向かって真っすぐに挑む姿勢や困難なことでも皆でやり遂げようとする熱意が、古くから諏訪の人々の生活に根付き、「諏訪人氣質」と呼ばれる率直で情熱的な人柄を生んでいると考えられます。
- ・こうした諏訪人が大切にしている文化や風習、強い郷土愛に培われた人柄を後世にも引き継いでいくため、未来を担う子どもたちが目に見えない諏訪の魅力を学ぶ機会や文化を体験する機会を設け、「諏訪人」プライドを持って暮らす大切さを伝えます。そして、一度は諏訪を離れてもまた戻ってきたいと思うマインドを育てます。
- ・また、外国人観光客を含め、来街者にもまちの魅力を歴史と一体に案内するガイドや、プロジェクトを推進する担い手を育成するとともに、市民一人ひとりのおもてなしの心の醸成を図ります。



諏訪人を熱くさせる御柱祭



文化を楽しみ、引き継ぐこどもまつり



ガイドを受けながら巡る歴史・文化探訪



## ブランディングの視点からエリアの情報発信

- エリアの特性を際立たせ、価値を向上させるブランディングの視点から、ストーリー性をもって魅力ある人、もの、歴史、技術、場所などを、時代に応じた効果的な技術やコンテンツ、手法により発信していきます。
- 例えばメタバース技術の活用や、音楽フェスやスポーツ大会、大規模イベントの積極的誘致、ロケ地としての活用などを推進することで、多世代にわたる多様な人が訪れ、まちを見る機会をつくり、まちの魅力の効果的な発信につなげます。
- 未来ビジョンや、未来ビジョンに基づく取組みについて、積極的に発信することで、まちのブランディングにつなげます。

## 訪れる人の立場から考えたまちのサインの見直し

- デザインや案内表示方法の不統一、内容の重複が見られたり、適切な更新が行われていないサイン・案内板などについて、はじめて訪れた人を含め、誰にでもわかりやすく魅力や歴史・資源を伝えられるよう見直していきます。
- 特に説明サインには、歴史的な情報や成り立ち、その場所に由来する文化・活動などの情報を併せて知ることができるよう、QRコードを掲載するなど、対象となる資源の関心や興味を高めることに留意します。
- また、誘導サインは、歩行者ネットワークを踏まえた分かりやすい位置に、色彩や景観、ユニバーサルデザインにも配慮して設置するよう検討します。
- 一方で、鮮度が重要な情報は、ディスプレイで表示するデジタルサイネージなどを活用し、情報のアップデートをしやすいサインを検討します。



TVや新聞、SNS、ホームページなど、様々なメディアの活用



デジタルサイネージ・QRコードのある説明サイン



まちなみに調和するサインや照明デザイン



**湖畔公園**  
湖畔公園は、スポーツや遊び、アート、イベント、ワーケーションなど、多様な活動ができるルールやマネジメントを検討します。

**柳並線**  
湖畔公園と西口駅前広場をつなぐ空間として、多様なモビリティによる利用とイベントなどによる空間活用が共存できる、新しい道路のマネジメントを検討します。

**上諏訪駅・駅前広場**  
まちのエントランス空間として、市民や来街者、全ての人が便利で楽しく、快適に利用できるデザインとマネジメントを検討します。

**柳並公園**  
商店街や並木通りとつながる柳並公園では、憩いや交流・遊びの場として、日常から親しまれるデザインとマネジメントを検討します。

**文化センター周辺**  
周辺の施設の特徴を活かし、文化的な活動や学び、遊びの場としてのデザインやマネジメントを検討します。

**諏訪湖イベントひろば**  
諏訪湖イベントひろばでは、産業振興を主軸とした官民連携による活用を検討します。

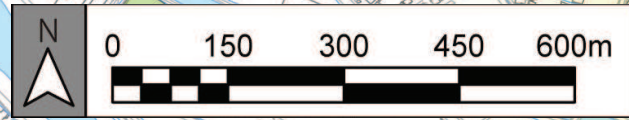
**高島公園周辺**  
高島公園では、歴史を活かしながら日常的な活用からイベントまで、多様な使い方ができるデザインやマネジメントを検討します。

**末広・小和田周辺**  
**ウォークブルゾーン**  
商店街などが集積する末広町周辺では、適切な自動車の交通規制と制御、魅力的な空間の創出、沿道の店舗などと連携した心地良い居場所づくりをデザイン＆マネジメントとして進め、ウォークブルゾーンを形成します。

**リノベーション推進ゾーン**  
歴史的な建物なども多く見られる一方、空き家も増えつつあるゾーンでは、建物を資源として活かし新たな機能、空間として再生するリノベーションを推進します。

**並木通り**  
四季や歴史を感じられるケヤキ並木を活かし、沿道の商店街などと連携しながら居心地のいい空間のデザインとマネジメントを検討します。

凡例	
	<b>ZONE</b> デザイン＆マネジメント 範囲を絞り、界限一体として魅力向上を図るゾーン
	<b>PLACE</b> デザイン＆マネジメント
	既存の資源を活かすことで活用の促進を図る場
	<b>諏訪湖イベントひろば</b> 既存計画を踏まえた整備を行うことで、活用に向けた新たな資源とする場
	<b>歩行者ネットワーク</b> 資源を効果的につなぎ、回遊性を高めるネットワーク
	<b>対象エリア</b>





## 界隈一体で魅力向上を体感できる“ZONE”としてのデザインとマネジメント

末広・小和田周辺

### リノベーションによるまちなみのデザインとブランド化

- ・末広・小和田周辺は、古くから商店街として栄えたエリアで、大正後期に発生した大火からの復興に際して取り入れられた看板建築をはじめ、明治から昭和初期にかけての懐かしさの感じることができる建築物や蔵、昔から生活の一部であった温泉を活用した共同浴場などがみられます。
- ・こうした建築物や資源を活かしながら新たなニーズに対応した利用へと再生するリノベーションを進め、一体のZONEとして魅力を高めていきます。
- ・また、リノベーションに際し、遊休不動産のストックと共に、オーナーと使い手を繋ぎ、マネジメントを図る仕組みも導入していきます。

### ウォークブルゾーンとストリートデザインによる歩いて楽しいまちなかへ

- ・リノベーションされた店舗や歴史を感じながら、散策や食べ歩き、呑み歩きや自分時間を楽しむことができるように、沿道建物と連携した利活用を想定した道路のオープン化を進めます。
- ・このため、地区の特性に合わせた交通規制による安全な歩行・滞留環境の確保、使い手の視点を考えた道路空間デザインの工夫、日常的な利活用に向けたマネジメント体制の構築を進めます。



建物をリノベーションした店舗や空き地を活用した滞留空間などで、楽しさや懐かしさを感じながら歩ける界隈を創出

## 既存の資源を活かし活用を促進する“PLACE”としてのデザインとマネジメント

### 湖畔公園

#### 諏訪湖を活かした多様な利活用ができる デザインとマネジメント

- ・諏訪湖は諏訪市において最も重要な資源の1つであり、湖畔公園は、上諏訪駅西口から柳並線を介した正面に位置し、駅からも温泉街からも市街地からもアクセスしやすい場所にあります。
- ・約16.7haの空間には、広場空間やステージ、サイクリングロードのほか、湖上アクティビティの提供も行われており、スポーツや遊び、アート、イベント、飲食やワーケーションなど、さまざまな活動の可能性が想定されます。
- ・市外の人にも広くアピールする魅力的な公共空間へと育てるべく、公民が連携して社会実験を行い、必要な施設整備や利活用のルール、マネジメントの方法を検討します。

### 柳並線

#### 多様なモビリティ利用と空間活用が共存できる デザインとマネジメント

- ・上諏訪駅と湖畔とをつなぐシンボル、上諏訪駅に連絡する自動車アクセス、諏訪湖畔につながるサイクリングの動線など、柳並線には多様な役割が期待されています。
- ・季節や曜日、時間帯の工夫で多様なモビリティ利用とイベント等による空間活用が共存できる、新しい道路空間のマネジメントを試行・検討します。



柳並線と連動しながら、湖上や湖畔では、カヌーや水陸両用バス、マルシェやイベント、サイクリングなど、様々なアクティビティとモビリティを楽しめる場を創出



## 上諏訪駅西口広場

**まちのエントランス空間として、市民や来街者など、すべての人が便利に楽しく、快適に利用できるデザインとマネジメント**

- ・上諏訪駅西口広場は、柳並線の開通、さらには中央自動車道のスマートインターチェンジ開設により、今後、市民や来街者にとって交通の結節点としての重要性がますます高まる場所となります。
- ・こうしたポテンシャルを十分発揮できるよう、今後、上諏訪駅からの連絡しやすさや駅東西の往来のしやすさの向上、様々なモビリティ利用への対応、快適な滞留・滞在の場の創出など、まちのエントランス空間として望ましい駅のデザインとマネジメントについて検討を進めます。
- ・また、まちのエントランスとなる公共空間として積極的なオープン化を図り、イベントや市民が自ら発意し手掛ける企画を試す場としてなど、様々な利活用も想定します。



多様な人やモビリティの結節点となるまちのエントランス空間として、日常利用からイベント利用まで様々な使い方が可能な場を創出

## 柳並公園

**憩いや交流・遊びの場  
日常から親しまれるデザインとマネジメント**

- ・上諏訪駅からほど近く、商店街や並木通りとつながる柳並公園は、商店街の利用や夜の飲食街利用、高校生の通学ルートに近い場所にあり、日常生活をちょっと豊かにする公共空間として高いポテンシャルを持っています。
- ・ケヤキの緑が作り出す木陰や木漏れ日など環境としての心地良さを活かし、テイクアウトの軽食や子どもの遊び、憩いや休憩、地域の音楽イベントやお祭りなど日常の空間としての可能性を最大限に引き出すべく、地元商店街などとも連携しながら、整備・活用のマネジメント方法を試行・検討します。

## 並木通り

**ケヤキ並木を活かしたストリートデザインとマネジメント**

- ・ケヤキ並木が特徴の並木通りは、自然が重ねた歴史や四季を感じることができる空間です。
- ・沿道には飲食店などの店舗が多く立地しているため、沿道施設や商店街と連携しながら、豊かな自然を感じる居心地のいい滞在空間のデザインやマネジメントを試行・検討します。
- ・また、木陰を活かした祭りや飲食イベントの開催など、多様な活用が可能な空間のデザインやマネジメントも試行・検討します。



柳並公園と並木通りでは、沿道の飲食店などと連携し、それぞれの場の特性を活かしながら、遊びや休憩、オープンカフェや滞留の場を一体的に創出



## 文化センター周辺

## 文化や学びを楽しむ空間のデザインとマネジメント

- ・文化センターや図書館などの公共施設が立地し、上諏訪駅周辺の文化活動の中心となるこの場所には、芝生広場や屋内ゲートボール場などもあり、子どもから高齢者まで、様々な人が訪れる場所です。
- ・文化施設などが集積し、施設に隣接して広場がある特徴を活かし、文化的な活動や学びの場、子どもの遊び場などに適したデザインとマネジメントを検討します。

## 高島公園周辺

## 市民にも来街者にも愛され、活用されるランドマークとなるデザインとマネジメント

- ・諏訪湖と並ぶ上諏訪駅周辺のランドマークである高島公園には、高島城やケヤキ・カツラなどの大木がそびえたち、市の歴史の重みを感じることができます。
- ・公園内にはステージやパーゴラ・ベンチがあり、祭りやイベントなどの非日常的な使い方から、ゆっくりと滞留するなどの日常的な活用まで可能であるため、歴史を活かしながら、様々な使い方が生み出される空間デザインとマネジメントを検討します。
- ・また、公園周辺道路の安全性と景観デザインの向上にも配慮し、回遊しやすい環境づくりに努めます。



文化センター前の芝生の空間では隣接した公共施設と連携し、子どもの遊び場や読書会の会場など、のんびりと穏やかな活用が可能な場を創出





# 5

## 未来ビジョンの推進に向けて

未来ビジョンの実現に向けて、プロジェクトを実施し取組みを推進するための  
公民連携の体制や今後10年間のロードマップを示します

## 公民の特性を活かした役割分担と連携による未来ビジョンの実現

民間（市民・企業・地域の組織など）と行政、そのどちらかの働きだけでは、未来ビジョンの実現は困難です。共通の未来ビジョンの下、それぞれの立場や責任を認識しその役割を果たすこと、**公民でしっかりと連携・協力していくことではじめて、未来ビジョンの実現とその継続が可能となります。**

このため、公民、それぞれの特性を活かした役割を担い、プロジェクトに応じた連携を図るための体制づくりを進めます。

行政は未来ビジョンの実現や民間の求めへの対応のため、**各組織や関係部署を横断する連携を図ります。**

民間は未来ビジョンの実現に向け、**市民一人ひとりが上諏訪の魅力を継承し、良くしていこうというマインドを持って、積極的に関わることに努めます。**

### 民間の役割

**小さな試みから組織的連携で実施するものまで  
民間の自由度を活かした取組みを主体的に実践**

- ・上諏訪駅周辺の公共空間や資源を活かし、自らがやりたいプロジェクトを主体的に提案・実践
- ・民間ならではのスピード感と自由度をもって、“今”できる小さなことから始め、ソフトを中心とした取組みの実施
- ・民間の情報・意向などを社会全体に向けて発信
- ・民間同士のつながりを活かした人材・企業誘致や投融資 など



### 行政の役割

**民間が取り組みやすい仕組みの構築、  
制度の改善や運用、ハード整備などの実施**

- ・民間の取組みの実現に向け、関係組織・権利者・庁内部署などの横連携の強化、調整
- ・プロジェクトなどの実施に向けた計画策定、補助制度などの拡充、規制緩和、権限移譲
- ・ハード整備など、市有の施設に関するものや、長期間を要する事業の実施主体 など



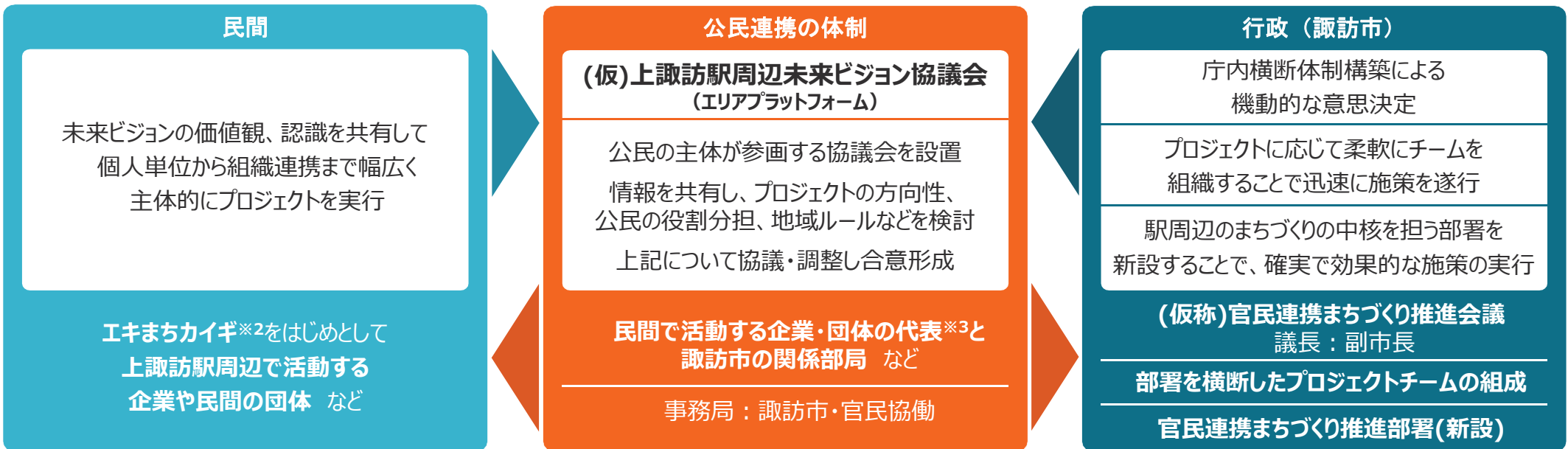
## 公と民をつなぐ連携体制（エリアプラットフォーム）を構築

公民が適切に情報共有し、プロジェクトの方向性や新たなルールづくりについて検討、協議し、合意形成・意思決定するため、**公民の代表により構成するエリアプラットフォーム※1**を構築します。

プロジェクトの実現に向けて、市は庁内横断的な会議により機動的に意思決定し、プロジェクトに応じたチームを組んで担当部署がその具体化を遂行します。また、この**公民連携の取組みを中心的に推進する部署**を新設します。

民間は、エリアプラットフォームや市からの適切なサポートを受けながら、**個人・団体問わず様々な関わり方でプロジェクトの実行を図ります**。

プロジェクトの**成果や公民連携体制の運用**について評価し、取組み内容や体制の改善にフィードバックする仕組みの導入についても検討し、**実践を重ねながら、柔軟に上諏訪駅周辺にあった公民連携のあり方を模索**します。

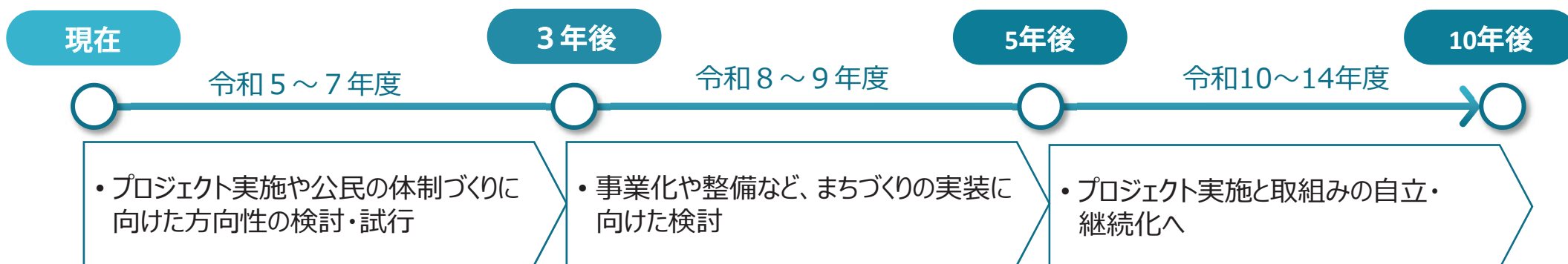


※1：行政や民間企業、商店街、自治会、商工会議所、専門家などが一緒になって、共に協議・取組みなどを行う場

※2：市民などが一人からでも参加できるまちづくりの活動の場

※3：未来ビジョン策定委員を含む

## 時間軸と目標を意識して、できることから順次取組みを実施 プロジェクトの公正な評価と適正な執行管理によるマネジメント



10年後の上諏訪駅周辺の姿を見据えながら、できることから段階的に各プロジェクトの検討や試行を進めていきます。

初めの3年間は、未来ビジョンの共有と浸透を図りながら体制構築の準備を進め、小さな試行と検証を重ねながら、プロジェクト毎の方針や具体策を検討します。

5年後までには、事業化や整備に向けて方針の精査、制度や仕組みの具体化、試験的な運用を進め、10年後の事業・整備の実施や継続的な都市経営につなげていくことを目指します。

プロジェクトの進捗や成果、公民連携の体制について評価、フィードバックする仕組みを検討し、柔軟に未来ビジョンのアップデート、公民連携の体制の改善を行います。



	方向性や枠組みの検討と試行 (R5~R7年度)	3年後	事業化に向けた検討と検証 (R8~R9年度)	5年後	事業実施と持続的運営へ (R10~R14年度)	10年後
<b>Project推進</b>	<b>エリアプラットフォーム・庁内体制の構築、プロジェクト執行管理</b>					
民 公	・ 設立準備	・ エリアプラットフォームの設立	適宜変更	持続的運営へ		
公	・ 庁内体制準備	・ 庁内体制構築、予算化				
民 公	・ 未来ビジョン周知 ・ PJ評価方法検討	・ PJ(プロジェクト)の評価、執行管理				
<b>Project 1</b>	<b>遊休不動産の活用による魅力・資源の再生</b>					
民 公	・ 空き家情報の収集・マッチングの仕組みづくり	・ 複数の遊休不動産の一体的マネジメント、持続的な不動産の流動化と再生				
公	・ イベントひろばなどの整備に向けた検討	・ イベントひろば等の設計・施工		・ イベントひろば等の再生		
<b>Project 2</b>	<b>自動車だけに依存しない、移動を楽しむ環境整備</b>					
民 公	・ ウォークابلゾーン設定、サイクルシェアシステムなどの検討 ・ 場の使い方・過ごし方を試す社会実験	・ 交通規制・道路利活用に関する合意形成 ・ ルール作りや整備に向けた社会実験と検討		・ ゾーン・ストリートの整備、フリンジパーキング整備、 サイクルシェアシステム運営		
<b>Project 3</b>	<b>公共空間のオープン化と積極的活用の推進</b>					
民 公	・ オープン化の仕組み・体制・ルールの検討 ・ 場の使い方・過ごし方を試す社会実験	・ オープン化の運用試行と検証 ・ 体制・ルールの改善に向けた社会実験		・ 取組みの自立・継続化へ		
民 公	・ まちのエントランス空間のあり方検討 ・ 駅西口のあり方を考える社会実験	・ まちのエントランス空間の整備 ・ 駅西口整備に向けた社会実験、利活用に向けた社会実験		・ まちのエントランス空間の利活用		
<b>Project 4</b>	<b>まちの魅力を発信・継承するプロモーションの実施</b>					
民 公	・ 効果的な情報発信の検討、連携体制構築	・ SNS・テレビ・新聞など、様々なメディアや技術・コンテンツを活用した情報発信				
民 公	・ サインに関するガイドラインの検討	・ アクションエリア、歩行者ネットワーク上のサインの整備				

※本ロードマップは、策定時の目標として設定したものであり、今後の検討や社会実験の結果を踏まえ、変更することがあります







# 6

## おわりにかえて

「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」は当会議の委員がまちづくりを推進するパートナーとして参画し、策定しました



団体名	役職	委員名
諏訪商工会議所	会頭	岩波 寿亮(第3回まで) 山谷 恭博(第4回から)
公益社団法人諏訪圏青年会議所	理事長	高橋 純
諏訪市商業連合会	会長	長谷川 佳史
諏訪観光協会(すわ姫会)	(すわ姫会) 副会長	宮坂 友子
諏訪湖かわまちづくり上諏訪地区協議会	会長	佐久 秀幸
諏訪五蔵	代表	宮坂 直孝
JR上諏訪駅	主任	日下部 基
長野県建築士会諏訪支部	支部長	宮坂 佐知子
西口から諏訪の未来を創る会	会長	進藤 実
NPO法人未広プロジェクト	代表理事	石城 正志
諏訪信用金庫	営業統括部 地域応援課長	竹村 英勝
社会福祉法人諏訪市社会福祉協議会	主任	大羽 伸弥
諏訪市保育園保護者会連合会	会員	中戸川 夏子
諏訪市政策アドバイザー	会社役員	今井 晴彦
UDC信州・信州大学	副センター長 副学長	林 靖人







**SUWA CENTRAL AREA VISION 2023**

**上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン**

官民連携上諏訪駅周辺未来ビジョン策定会議 /2023(令和5)年 3月